

使役動詞 “make” 三つの使い方

“make”には「作る/造る」以外に、使役動詞として下記のような三つの使い方があります。使役動詞とは、人または物に何かをしてもらう、させる、という意味を表す動詞です。

その1 : make + A(名詞) + B(動詞の原形)

意味は『A(名詞)に強制的にB(動詞)させる』です。

make以外の使役動詞の”let”や“have”や”get”より比較的強い強制のニュアンスを持ちます。

例1) She made her son wash the dishes. 彼女は息子に皿洗いをさせた。

例2) He made me go out of the room. 彼は私を部屋から追い出した。

例3) The issue made the company stop all the plans. その問題が会社に全ての計画を中止させた。

但し、“make”を受動態で使う場合は”to+動詞の原形”を伴い下記の例4と例5のように“A be made to B”「AはBさせられる/Bする事を強いられる」となります。

例4) I **was made to transfer** to another department. 私は他の部署へ**移動させられた**。

例5) He **will be made to go** alone on the business trip. 彼はその出張に一人で**行かされるだろう**。

その2 : make + A(名詞) + B(形容詞)

意味は『A(名詞)をB(形容詞)の状態にする』です。

例1) The news made us very happy. そのニュースは私たちをととても幸せな気持ちにした。

例2) The new chairs will make everybody comfortable. その新しい椅子は誰でも快適な気分にするだろう。

例3) The new process made it simple to fix the budget. その新しいプロセスは予算を決める事を簡素化した。

* 文中の “it” は “to fix the budget” 「予算を決める事」を代名詞として意味しています。

受動態で使う場合でも形容詞の使い方には変わりなく下記の例4)のように“A be made B”「AはBの状態にされた」となります。

例4) I was made aware of the fact yesterday. 私は昨日その事実を知らされた。

その3 : make + A(名詞) + B(名詞)

意味は『A(名詞)をB(名詞)にする』です。

例1) The movie made him a star. その映画は彼をスターにした。

例2) He made me a skillful engineer. 彼は私を良い(熟練の)技術者にした/してくれた。

但し、この “make + A(名詞) + B(名詞)” の文形では下記の例3)のように”make”を使役動詞としてではなく一般動詞の「作る」の意味でも使うことも頻繁にありますのでご注意ください。

どちらの ”make” なのかは、その文の内容(意味)から判断するしかありません。

例3) My father made me a bookshelf. 父が本棚を作ってくれた。

以上です